

2024年10月吉日

一般社団法人 いきもの共生事業推進協議会

「自然と共生する世界」の実現にビジネスから貢献

## 環境省と(一社)いきもの共生事業推進協議会(ABINC)の 連携により1施設が「自然共生サイト」として認定されました

環境省は、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を認定する「自然共生サイト」認定制度を令和5年(2023年)4月から開始しました。一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(以下当協議会)は環境省と、自然共生サイトの申請サポートや審査の効率化の観点で相互に協力・連携するために、自然共生サイト認定における事務局予備審査及び審査委員審査(認定相当審査)に関しての連携を今年度も継続して連携することとなりました。



**ABINC**  
Association for Business Innovation  
In harmony with Nature and Community

この度、令和6年度前期認定におきまして、2014年度にABINC認証(工場版)を取得され、その後3度更新されている下記認証事業所がABINCの代行審査により、「自然共生サイト」として認定されました。

**サイト名:盛岡セイコー工業 わくわくの森・わくわくトープ**  
**申請者名:盛岡セイコー工業株式会社**  
**サイト所在地:岩手県岩手郡雫石町**

(セイコーグループ株式会社発表)

<https://www.seiko.co.jp/news/sgc/2024/202409271630.html>

(環境省報道発表)[https://www.env.go.jp/press/press\\_03747.html](https://www.env.go.jp/press/press_03747.html)

(自然共生サイト認定結果)<https://www.env.go.jp/content/000254455.pdf>

### ■一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)について

当協議会は、生物多様性条約第1015回締約国会議(COP1015)において採択された愛知目標昆明・モントリオール生物多様性枠組および生物多様性戦略計画で掲げられた、2050年までの長期目標「自然と共生する世界」の実現と、2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」2030年までに自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる「2030年ネイチャーポジティブ」の実現のために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体及び個人と協働して、いきものと人が共生できるしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」を推進することを目的とする。またその目的として設立されました。

**【団体概要】**

■名称：一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

[英文名：Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community  
＝略称ABINC(エイビंक)]

■設立：2013年12月25日 ■連絡先：[info@abinc.or.jp](mailto:info@abinc.or.jp) ■ホームページ：<http://www.abinc.or.jp/>

■理事： 森本 幸裕 (京都大学 名誉教授) <会長>  
原口 真 (MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社  
サステナビリティ推進部 TNFD専任SVP) <副会長>  
足立 直樹 (一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 理事・事務局長)  
小松 裕幸 (清水建設株式会社 環境経営推進室 グリーンインフラ推進部  
主席マネージャー)  
高塚 敏 (株式会社地域環境計画 代表取締役)  
長澤 基一 (株式会社日本設計 ランドスケープ・都市基盤設計部  
ランドスケープ設計グループ長)  
村山 顕人 (東京大学 大学院工学系研究科 准教授)

■監事： 梶谷 修 (一般社団法人 日本環境アセスメント協会 顧問)  
渡邊 哲朗 (税理士法人渡辺総研)

<本発表に関するお問い合わせ先>

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)事務局 事務局長：安斉 健雄 担当：渡辺・柴田

※事務局業務取扱い受託 MS&ADインターリスク総研株式会社

e-mail : [abinc@catcorp.jp](mailto:abinc@catcorp.jp)